

不易と流行

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝

文責 三宅 智

●全商1級3種目以上合格者表彰・卒業式にて表彰されました【3年生】

今年度の全商1級3種目以上の合格者は、47名が輩出されました。全国商業高等学校協会主催検定における1級3種目以上合格は、この3年間の努力の成果です。おめでとうございます。1級を取得することの難しさや、挑戦する気持ちを持つことの大切さを学んでくれたと思います。卒業後もこの学びを活かして活躍を期待しています。

また、商業経済検定全科目合格者6名においても記念品が贈呈されました。こちらは、本校が取得者数全道1位という快挙でした。3年生の努力が垣間見える卒業式となりました。卒業生のみなさんの今後の活躍も期待しています。

●3年生に続き商業経済検定全科目

合格者1・2年生にも！【1・2年生】

今年度の全商商業経済検定の全科目合格者において、1年生で1名、2年生で2名の合格者がでました。千歳高校での1年生の全科目合格者は史上初となります。どのような努力をしたのか1年生のMくんにインタビューしました。



商業経済検定全科目合格者が受け継がれています

○検定の難易度分析をしてください

→あくまでも個人的な意見ですが、ビジネス経済A・経済活動と法・ビジネス経済B・ビジネス基礎・マーケティングの順で難しく感じました。

●ビジネス経済Aは、基本的な知識が足りないとグラフや表を読み解くのが難しく苦戦します。

●経済活動と法は分量が多く読解力が必要で、癖のある問題が多い。細かい知識が必要です。

●ビジネス経済Bは用語が多い分、ビジネス経済Aよりは解きやすい印象です。

●ビジネス基礎とマーケティングは授業で習っていたため対策すれば難しくはありませんでした。

○なぜ5科目同時に受験しようと思ったのか

→年度末の検定のため、後の負担にならないこと。冬休みを利用して学習し合格を目指せと思ったこと。自分の可能性を試してみたかったことから受験しました。

○どのような工夫や努力がありましたか

→検定のテキストを中心に学習し、過去問を解きました。一問一答の部分も使って間違ったところを中心に見直しをかけました。独学の人は教科書があると学習しやすいと思います。(Mくんは中古本をネットで独自に購入し対策)

○今後の目標

→検定の勉強を継続して、進路実現(就職)に向けたビジネスの基礎知識を磨きたいです。

●卒業生より国公立大学合格者が出ました！【3年生のYさん・岩手大学】

今年度の卒業生より、国公立大学へ1名(岩手大学)合格することができました。後輩へのアドバイスと共に、どのような受験対策をしたのかをインタビューしました。先日の国際流通科集会にも講師として参加してもらった生徒です。覚えている人もいます。学校推薦型選抜(公募制)を考えている人達はぜひ参考にしましょう。準備が必要となる試験対策や書類としては、「小論文」「面接」「本人の出願理由書」(これに加え学校で準備する「推薦書」「調査書」)があります。公募制推薦というのは決して簡単な試験では無いということは覚えておきましょう。



○合格した大学名と学部・学科の正式名称

→岩手大学人文科学部人間文化課程です。

○なぜこの大学を受験しようと思ったのか

→学びたい分野について専門的かつ幅広く学ぶこところに魅力を感じたからです。

○高校時代に頑張ってきたこと

→検定の勉強を頑張りました。初めて習うことばかり最初は苦戦しましたが、継続して勉強することでだんだん出来るようになりました。

○大変だったこと

→部活(BSC)との両立が大変でした。受験の日程と全国大会が同じ時期にあったため、両立しなければならぬのは大変でした。ですが、支えてもらった面も多く、うまく切り替えながら取り組めたと思います。

○どのような受験対策を行ったのか

→小論文の対策は9月頃から始めました。市販のテキストで基礎知識を身に付け、その後に過去問を全部で5題くらい解きました。過去問は推薦入試のものが公表されていなかったため、同学部の一般後期の過去問を解いていました。面接は、10月くらいから本格的に始め、10回以上やりました。面接ノートを作り、毎回先生にアドバイスをもらうたびに改善するようにしていました。

○卒業までの目標

→英語は特に力を入れて頑張りたいです。どこの大学に行っても、英語はやっておいた方がいいとの話を聞きました。なので、英語はコツコツ頑張っていきたいと思います。

○卒業後の目標

→環境が新しくなり、慣れないことも多々あると思うけど、勉強だけでなく色々なことにチャレンジして充実した4年間を過ごしたいです。

○後輩に向けてのメッセージ

→今はまだやりたいことがない人もいますが、早いうちから考え、周りから言われる前に自分から行動することが大切だと思います。1人で成し遂げられることではないと思うので、周りの人への感謝を忘れずに頑張ってください。

◎実際に使った面接対策のノートには細かな書き込みがたくさんあり、努力の跡がたくさん見られました。小論文や提出課題も何度も校正して良いものを作ろうと努力していたのが印象的でした。部活動(BSC)でも、全国大会出場を支えたプレゼンテーション資料を作製した中心メンバーとして活躍した生徒です。岩手大学での活躍も期待しています。

●次年度の検定スケジュールを確認しましょう【※3年生は受験忘れに注意】

次年度の全商検定のスケジュールが、全商公式Webページから出ていますので、必ずチェックしましょう。特に3年生については、授業で対応してクラス全員で受けるということが少なくなりますので、取りこぼしの検定がある場合は手続きを忘れないように注意しましょう。

→右図QRコードより全商公式Webページのスケジュールが確認できます (<https://zensho.or.jp/schedule/>)



今年の1年生は、独学で簿記検定1級(財務会計)や全商珠算電卓検定(ビジネス計算は1年未履修)に合格する生徒がいたり、商業経済検定を複数受験する生徒がいたり、上位級の資格取得に積極的に挑戦する傾向が見られました。次年度は久々に12月の全商財務諸表分析検定試験・財務会計検定試験・管理会計検定試験(旧会計実務検定)の受験者が出るかもしれません。今から勉強すれば十分に間に合います。昔は2科目で1級扱いでしたが、現在は1科目で1級の扱いになります。ぜひとも挑戦してみましょう。(ちなみにこちらも3科目全科目合格の表彰があります)